

## 第21回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和元年6月14日（金）午前11時～
- 開催場所 遠軽町役場2階応接室
- 記者数 4人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

### ■令和元年第4回遠軽町議会（定例会）に提出する案件から

#### （1）遠軽町名誉町民について

本議会に提出する案件のうち、主なものについて申し上げます。

6月議会定例会において、元北海道知事の堀達也氏を遠軽町名誉町民とすることについて提案をします。

堀氏は、遠軽町出身の83歳で、昭和29年3月に遠軽高等学校を卒業し、昭和33年3月には北海道大学農学部を卒業しています。

昭和33年10月から、北海道職員として、林務部林産課長、土木部次長、総務部知事室長などの要職を歴任した後、平成3年5月に公営企業管理者、さらに平成5年6月には副知事に就任し、平成7年4月からは北海道知事として、平成15年4月までの2期8年にわたり在職されております。

北海道の代表者として、リーダーシップと豊かな行政経験を生かし、高邁な政治理念をもって道民生活の安定向上と北海道の発展に多大な貢献をされました。

このことは、遠軽町名誉町民条例第2条の資格要件、広く社会文化の興隆に貢献し、町民が郷土の誇りとし、かつ、深く尊敬に値すると認められる方であります。

#### （2）（仮称）えんがる町民センターの建設について

次に、（仮称）えんがる町民センターの建設につきましては、令和3年夏頃のオープンを目指し、今年度から2か年で建設に着手することとなりました。

音楽ホールの建設は、遠軽町における長年の懸案事項でありましたが、建設の是非から建設場所、設計内容まで、約10年間、町民の皆様からご意見を伺うとともに、関係団体の皆様と協議を行いながら、ようやく建設着手に至りました。

これまで、ご尽力を賜りました関係者の皆様には、心からお礼を申し上げるところでございます。

（仮称）えんがる町民センターは、吹奏楽のまち遠軽の文化を継承し、新たな交流や発見を創出させる遠軽町の新たなシンボルとして、吹奏楽をはじめ、講演や演劇などで使用が可能な大ホールや、多様な活動に対応した小ホールや多目的室、和室など、老朽化した福祉センターや青少年会館、高齢者センターなどで行われてきた芸術文化活動を統廃合した施設になります。

また、地球温暖化対策の取組としまして、地中熱を利用したヒートポンプシステムを遠軽町として初めて導入し、CO<sub>2</sub>の排出を抑制するとともに、施設の維持管理費の低減も図ることとしています。

この施設の愛称とロゴマークにつきましては、本年5月末まで公募を行ったところですが、愛称は304件、ロゴマークは112件の応募があったところでございます。町民の皆様にご愛着を持ってもらえる施設となるよう、今後、検討協議会で選定を行ったうえで、決定したいと考えているところでございます。

施設の建設に当たりましては、岩見通南1丁目の対面通行化に係る道路工事も併せて行いますので、工事箇所での道路通行の際には、ご不便をおかけする場合がありますが、ご了承くださいたいと思います。

#### ■駐日アイルランド大使の訪問について

現在、農政林務課主体で進めております、本町の北海道家庭学校敷地内にあります「オリンピック展示林」に係る事業につきましては、これまでの経過を含めて皆様にお知らせしてきたところです。

遠軽町では、来年開催されます2020年東京大会を契機として、この展示林を「みどりと国際交流のレガシー（遺産）」として関係国と次世代に継承する活動を世界中にアピールしていくとともに関係国との交流を深めるため、「ホストタウン」の登録を目指し、これまで展示林関係国のアイルランド大使館を訪問するなど、交流計画案について直接大使に提案をさせていただいているところです。

今年2月に大使館を訪問した際には、大使自らオリンピック展示林を視察するために、遠軽を訪問したいとお話があったところであり、また、来年の東京オリンピックの時には、アイルランドのマスメディアやテレビクルーなどを連れて、遠軽で植樹セレモニーができればとの発言もあったところです。

そのことからこの度、今月16日（日）～17日（月）の2日間、本町を訪問されることになりました。

スケジュール的には、家庭学校の展示林や礼拝堂・資料館の視察をはじめ、人工芝のえんがる球技場などの体育施設や遠軽高校のラグビー部の練習を見学する予定としております。

現在、駐日アイルランド大使から本国のオリンピック協会に対し、本町との交流計画案について、お話ししていただくことを約束頂いている状況であり、今後「ホストタウン」としてアイルランドとの交流を深めるとともに、展示林を「みどりと国際交流のレガシー（遺産）」として次世代に継承する活動を通して、遠軽の名をアピールできるよう、今回の大使の訪問が弾みとなるものと期待しているところです。

#### ■遠軽町における石北本線の存続に向けた取組について

石北本線の利用促進を図るため、本年度、新たに町民の団体利用に対する助成と、町外者向けの助成を実施いたします。

どちらも6月1日から本年度末までの利用について対象といたします。

実施主体は、町、商工会議所、商工会、観光協会で構成する「遠軽町石北本線利用促進協議会」となります。

団体利用促進助成につきましては、町民5人以上で構成する団体に対し切符購入額の半額、3万円を上限に助成するものです。

学校行事や出張利用は対象外としています。また、部活動での利用は年間1回のみとし、予算額に達し次第、事業を終了いたします。

町外者鉄道利用助成事業につきましては、町外から鉄道を利用して来町し、町内のホテル・旅館などに宿泊した方に対し、片道利用2千円、往復利用4千円を助成し、予算額に達し次第、事業を終了いたします。

「鉄道維持に関するフォーラム」につきましては、商工会議所が主催するものでありまして、6月26日（水）15時30分からホテルサンシャインにて開催いたします。

講師につきましては、北海道大学大学院准教授で、道の「持続可能な鉄道網の確立に向けた検討会」座長、北海道運輸交通審議会鉄道ネットワークワーキングチーム座長も務められた岸邦宏氏、観光客の鉄道利用を増やすという観点から首相官邸所管の「明日の日本を支える観光

ビジョン構想会議」委員など国、道などのアドバイザーなどを多数努められている石井至氏の2氏をお願いしております。

また、特別ゲストとして、本町出身の漫画家、「カボチャ団体の陳情」のイラスト寄稿もしていただいています安彦良和氏に、新たなイラストを描き下ろしていただき、イラストに込めた思いなどを語っていただくこととしています。

町独自の取組については、以上ですが、今年度、来年度の2年間は国からJR北海道に下された業務監督命令において、第1期集中改革期間に位置付けられています。

この間、本町だけでなく、全道的な取組を進めることで、国による所要の法改正や地方財政措置などを引き出す環境づくりが肝要です。

引き続き、沿線自治体や北海道と連携した取組を進めて参ります。

#### ■瀬戸瀬小学校の今後のあり方について

瀬戸瀬小学校の今後のあり方についてですが、瀬戸瀬小学校は、近年の児童数の減少によって生じる課題に対して、保護者が中心となり、さまざまな検討がされてきた中で、瀬戸瀬地域の各団体の長並びに地域住民の皆様とも協議を重ねてきました。

その結果、平成31年4月15日に実施されたPTA総会において、児童数の減少、校舎の耐久性、児童の安全などを総合的に判断し、児童にとってより良い教育環境での学校生活を考えたとき、令和2年度末（令和3年3月31日）をもって瀬戸瀬小学校を閉校するという結論に至りました。

町としては、この決定を尊重し、今後、具体的に事務手続きを進めていきたいと考えているところであります。

#### ■役場庁舎等の敷地内禁煙について

受動喫煙防止対策を強化する改正健康増進法により、本年7月から学校、病院、児童福祉施設や行政機関の庁舎が、原則、敷地内禁煙となります。これを受けまして、当町の役場庁舎及び各総合支所庁舎において、敷地内禁煙といたします。

来庁される喫煙者の皆様にはご不便をおかけしますが、望まない受動喫煙の防止を図るという法の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

町民の皆様への周知につきましては、町ホームページや広報紙での周知のほか、庁舎に敷地内禁煙である旨を掲示して参ります。

なお、その他の施設の対応につきましては、施設の性質や近隣との摩擦などを鑑みながら、今後整理をしていきます。

#### ■遠軽町埋蔵文化財センター第3回企画展について

遠軽町埋蔵文化財センター第3回企画展「列島最北の縄文草創期遺跡 遠軽町タチカルシュナイ遺跡展」を7月27日（土）から9月23日（月）まで開催いたします。

この企画展は、向遠軽のタチカルシュナイ遺跡における東京大学などによる最新の発掘調査の成果を紹介する内容となっています。

北海道では発見例の少ない旧石器時代から縄文時代への移行期である「縄文時代草創期」の土器や石器など学術的に貴重な資料をご覧ください。

併せて、7月20日（土）から10月31日（木）まで白滝ジオパーク推進協議会、えんがる町観光協会共催によるナゾトキ・スタンプラリー「インカルシ探偵団」も開催いたします。

町内に設置されたスタンプを集めながら、謎を解いていくことで、町の特産品や宿泊券など豪華景品が当たるプレゼント企画に応募いただけます。

是非、この機会に、たくさんの方々がご観覧、ご参加くださいますようお願いいたします。